

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|--------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2022年度 | 開講キャンパス | | 宮崎キャンパス | 開設学科 | | 管理栄養学科 | | |
| 科目名称 | 管理栄養士演習V | | | | | 授業形態 | 演習 | | |
| 科目コード | 306204 | 単位数 | 3単位 | 配当学年 | 4年 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 川北 久美子 | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>これまでの3年間で履修してきた管理栄養士養成課程の科目のうち、国家試験受験と関連ある出題基準（ガイドライン）に沿って、「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」「応用力試験」等においてまとめと復習を行う。</p> <p>学科独自のカリキュラムであり、卒業時の3月に受験する管理栄養士国家試験合格に向けて各自が課題を見つけ、合格への対策をたて、実践する学習。</p> <p>【知識・理解を応用し活用する能力】 10回実施される管理栄養士国家試験模擬試験を受験し、管理栄養士課程で学んだ全ての内容から振り返る自己学習とする。【自己管理能力】</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 出題基準（ガイドライン）に沿った「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」「応用力試験」の関連科目を受講しておくことが望ましい。 | | | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 指定された日程で模擬試験を受験する。受験後自己採点を行い、間違ったところなどをチェックする。 次回の模擬試験受験に学習した事柄を反映させるための自己学習をする。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第1～4回】 | 第1 ～ 4.5回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第4～9回】 | 第4.6 ～ 9回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第9～13回】 | 第9.1 ～13.5回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第13～18回】 | 第13.6 ～ 18回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第18～22回】 | 第18.1～22.5回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第22～27回】 | 第22.6 ～ 27回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第27～31回】 | 第27.1～31.5回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第31～36回】 | 第31.6 ～ 36回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第36～40回】 | 第36.1～40.5回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第40～45回】 | 第40.6 ～ 45回 模擬試験を受験し、その後自己採点・振り返りによる疑問点の解決等に取り組む。 ※授業計画（回数）については、1単位×15回×3単位を模擬試験10回で割った回数。 | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬試験受験を通して各自が課題を見つけ、合格への対策をたて、実践することができる。【自己管理能力の育成】 2. 振り返りによる疑問点の解決、自らにフィードバックできる。【コミュニケーションスキルの育成】 3. 「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」「応用力試験」各分野得点率60%以上を達成すること。【知識・理解を応用し活用する能力の育成】 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5) |
| 授業時間外の学修 【予習】 | 苦手分野の教科への取り組み（約5時間以上） その他の分野（約3時間以上） |
| 授業時間外の学修 【復習】 | 振り返りによる疑問点の解決、自らにフィードバック（各5時間以上）。 |
| 課題に対する フィードバック | 模擬試験後、科目別得点率、問題別正答率、選択率などを記した成績表を返却する。 模擬試験後、成績に応じてグループ分けをし、課題に取り組ませる。 |
| 評価方法・基準 | 原則として、模擬試験で60%以上の得点率に到達した者に単位を認定する。 |
| テキスト | 特になし。 |
| 参考書 | 各教員が担当する科目の教科書、プリント。 クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説（MEDIC MEDIA） レビューブック管理栄養士（MEDIC MEDIA） 管理栄養士国家試験過去問解説集（中央法規出版株式会社） |
| 備考 | |